

勝瑞発掘だより

10号

2005.6月



特集 発掘の道具

遺跡の発掘作業では、いろいろな道具が使われています。今回は、そうした道具を特集したいと思います！！

発掘の道具(入門編) まずは発掘で使う基本的な道具を見てみましょう。



ガリとよばれる、地面をきれいに仕上げる道具です。

いわずと知れたスコップです。ただし、遺跡をこわさないよう、先がふつうのものよりも削られています。

地面をならしたり、土をかき上げるのに使う道具で、サントクといひます。



💡(道具の手入れ)💡

土を削るガリやサントクの刃は、いたみやすく、右の写真のように機械で刃を研ぐ必要があります。

研いだ後の道具は、包丁とおなじぐらいよく切れます。どんなに固い土でも驚くほど楽にそぎ落とすことができます。



はくくつ
発掘の道具（こだわり編） ^{へん} 発掘スタッフは、遺跡や、自分の使いやすさにこだわり、自らの道具に手を加えています。ここではガリを中心に、そうしたこだわりの一部をのぞいてみましょう！



鉄を熱して、刃や首を曲げます。刃のとどきにくい、せまいところも掘ることが出来ます。



切ると・・・



このとおり！

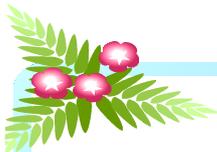


鉄を切って、地面のかたちそに沿った大きさに加工しています。



ずらっと並ならんださまざまなかたちの道具。これらは、全部おなじガリ（写真左下）を加工してつくったものなんです。これだけあればどんな遺跡もばっちりです！

(h.maeda)



はくくつそくほう 発掘速報



池の肩（縁）には、石がきれいに つみあげられている部分があること がわかりました。

どんな池がでてくるのでしょうか。

発掘現場では、毎日があたらしい発見です。今後も目が離せません。

問い合わせ先：勝瑞館跡発掘現場事務所
 TEL 088-641-3466
 E-mail: syugomachishouzui@air.ocn.ne.jp
 URL: <http://www15.ocn.ne.jp/~shouzui/>



